

研究奨励野澤賞提出物作成上の注意

武蔵大学経済学研究科

2024 年 6 月 1 日改定

1. 提出物

- (1) 公表論文又はそれに準ずるもの（以下、「論文」とする。）、日本語による要旨、今後の研究計画書を指定された期日までに所定の場所に持参し提出すること。（郵送可）
- (2) 提出物は、それぞれ PDF もしくは WORD による電子媒体と正本 1 部の他、副本（コピー）2 部の紙媒体の両方を用意すること。なお、提出物は返却しない。
- (3) 下記要件を満たさない提出物は受理しない。各自余裕をもって提出準備をすること。ただし、公表済みもしくは投稿中の論文については、掲載雑誌等の書式を優先しても構わない。また、抜き刷りの提出も認める。

2. 用紙と記載方法

- (1) 紙媒体は A4 判用紙とする。パソコンを使用し、縦書き・横書きについては自由。
- (2) 使用言語は原則として日本語とする。ただし、英語での提出も認める。それ以外の言語による論文を作成する場合は、必ず事前に問合わせること。
- (3) 分量については日本語論文の場合、参考文献リストや写真等を除いて、20,000 字程度を目安とする。英語論文の場合は、注を含めて 7,000 語程度とする。ただし、論文末尾に加える文献書誌についてはこの制限外とする。
- (4) 論文と別に 3,200～4,000 字程度の要旨と所定の「論文題目届」を添付すること。なお、論文を他の組織が募集する懸賞論文に応募している場合は、提出先を論文題目届に明記すること。
- (5) 今後の研究計画書は、書式自由とするが、論文執筆計画を中心に具体的な記述を心がけること。

3. 論文の形式と構成

(1) 装 丁	論文にはすべて中表紙をつけ、黒表紙または二穴バインダー等で綴じること。 縦書きの場合は右綴じ、横書きの場合は左綴じとすること。多額の費用をかけて装丁する必要はない。なお、表紙、中表紙には、論文題目と提出者名を記入すること。
(2) 目 次	論文には目次をつけ、本文の下部に必ずページをふること。また、論文は内容により章・節に区分することが望ましい。
(3) 参考文献	参考文献を引用した場合は、論文の末尾にその一覧表を添付すること。 参考文献には、書名（論文名）、著者名、出版社名、発行年月を明記すること。 参考文献の表示の仕方については、単行本や小説の場合は、書名を『』で、論文名は「」でくくり、原文のまま記入すること。英文等の場合は、単行本や小説は、イタリック体で表記するか書名（大文字）に下線を入れ、論文は“ ”でくくすること。
(4) 注 記	注記を入れる場合は、注記したい本文の脇に（注 1）のごとく記入し、脚注または章または文末に、その内容を記すこと。

以 上